

今、世界で一番行ってみたい国はコスタリカ 常任理事 大西清見

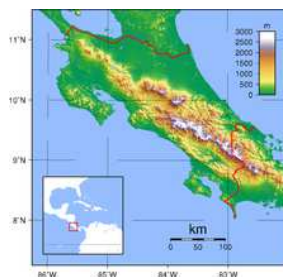
登山には少し離れていますがコスタリカのことを少し。今、世界で一番行ってみたい国は、コスタリカ。コスタリカは中央アメリカ南部に位置する人口 486 万人の小さな国で、1949 年に常備軍を廃止する憲法を成立させました。現在も憲法で戦力を持たないことをうたっている非武装中立国です。その軍事費に相当する費用は社会福祉や医療・教育にもあてることができ、今では中南米で政治的にも経済的にも最も安定した国となっています。高度な医療や義務教育、さらに国立の高等教育までも無償化を実施し、豊かな人材を輩出させ、コスタリカの内外で活躍している人も多く見かけます。コーヒーなどの農業と観光などが主な財源であるにも関わらず、この国の純粋な民主主義が豊かな国に成長させていることは過言ではありません。

また、コスタリカは自然保護の先進国でもあるのです。日本の 1/7 の面積しかないこの小さな国に地球上の約 5% の種類の生物が生息しているといわれています。なかでも鳥類も 850 種も見られ、世界の野鳥愛好家の憧れの鳥ケツァールやハチ鳥も棲む熱帯雲霧林には、一度は足を踏み入れてみたいものです。何とコスタリカは国土の 4 分の 1 が国立公園や保護区に指定されています。熱帯雨林の働きと人間の関係や世界の自然保護について考え、森を守るために一人ひとりが行動をおこすきっかけにしていこうとエコツーリズムの取り組みも進んでいます（コスタリカでのエコツーリズムは盛んで、このエコツーリズムはコスタリカが発祥と言われ、世界中から大勢の人がやっています）。

コスタリカは登山も国を挙げて力を入れています。環太平洋造山帯に位置するため火山が多く、その最高峰がチリポ山（3820m）で、山頂から太平洋とカリブ海を一望できるそうです。熱帯雲霧林の鬱蒼とした森のなかを登り、この森のなかでも様々な生き物たちに会えるのも楽しみの一つです。登山は山頂直下の山小屋に泊まり 1 泊 2 日コース、早朝はカリブ海からの太陽が中央アメリカの壮大な大地を染めるとか。

こんなコスタリカに一度行ってみませんか。こんなコスタリカのような国作りをみんなで考えてみませんか。

注：雲霧林…熱帯・亜熱帯地域の山地で霧（下から見れば雲）が多く、湿度の高い場所に発達する常緑樹林。



首都サンホセは北緯 10 度



熱帯雲霧林の彼方が首都サンホセ、その奥が最高峰チリポ山